

タイトル 縦につながる光の通り道で、住宅密集地の課題を解消
柔らかな日差しに包まれる、和モダンの暮らし

設計 (株) 東急Re・デザイン 施工 (株) 東急Re・デザイン

タイプ 持家一戸建

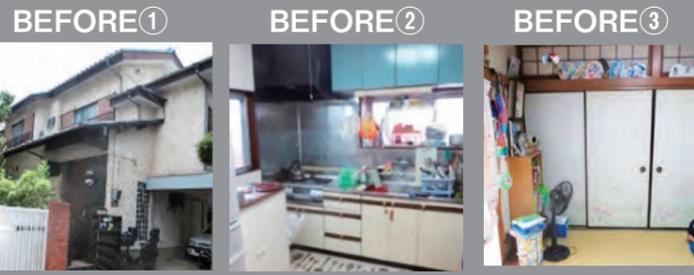
構造 在来木造

講評 住宅密集地という住環境を改善するために、大胆な間取り変更の工夫によって、各部屋に採光と通風を確保している。直下率を高めて耐震性を確保しながら、ルーフバルコニーや木質感のある明るい内装にすることで、開放感あふれる住まいに生まれ変わらせている。

リフォーム前後の写真

住宅密集地の暗い家を改善するリフォーム

- 1階LDKの暗さを解消したい
- 外部から視線を遮り、プライバシーを守りながらも採光の確保が課題



■ 1階LDK 天井まで届く開口窓を南面に設置。光を通す格子の仕切り



光を家全体へ拡散

■ 階段・玄関の吹き抜け
外部の視線を気にせず、上階からの光を採り込む



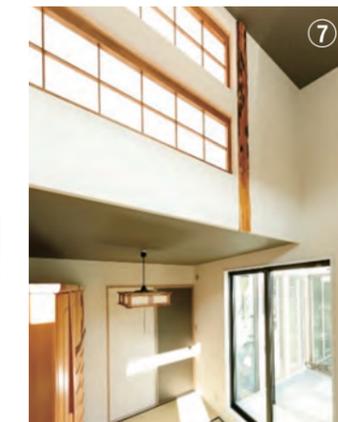
■ 2階階段フロアとセンターバルコニー
スケルトン階段・ガラス壁で、天窗・高窓からも光を通す



■ 1階和室～玄関
扉をガラスにすることで、玄関まで明るさを届ける



■ ロフト採光窓
既存の障子を高窓に活用



■ 外観
外からの視線を考慮した窓の配置



リフォームの動機／設計・施工の工夫点／施主の感想・満足度／住宅の価値を向上させた内容など

動機／祖父から受け継いだ築45年の住宅。住宅密集地にあるため、採光とプライバシーの確保を両立させること。そして、採り込んだ陽射しと調和する、木を巧みに用いた和モダンデザインを希望。

設計のポイント／[1階] ■リビング南側に、天井まで届く開口窓を設置 ■リビング内に移動した階段を吹き抜けにして、上階から光を招き入れる ■玄関は吹き抜けを通じて上階とつなげ、さらに、隣接する和室との仕切りをガラス戸にすることで、光を通す設計に。

[2階] ■中央にセンターバルコニーを設け、高さのある開口窓により採光を確保。トップライトを増設し、さらに、階段の仕切りをガラスにすることで、階下へも光を届ける。

意匠／日の光が柔らかに映える、明るいチェリーの無垢床を選択。板張り天井や緩やかに仕切る格子とともに、既存の障子や床柱を活用し、上質な和モダンの空間に仕上げた。

住宅性能の向上／採光性とともに、断熱性・耐震性も向上。次の世代に永く住み継ぐ住まいを実現した。

性能向上の特性	特に配慮した事項	lw値
耐震性能、耐久性能、断熱性能、防音・遮音性能、バリアフリー性能	住宅密集地にある採光とプライバシーの課題を解決。2階で高窓や天窗から光を採り込み、2つの吹き抜けを通じて階下まで届ける設計に。1階でもガラスや格子を用いて、光を遮らないよう配慮している。	リフォーム前 0.07 リフォーム後 1.2

データ	
所在地	東京都練馬区
新築竣工年	1974年
築後年数	45年
施工期間	206日間
該当工事床面積	123.85㎡
総工事床面積	123.85㎡
該当部分工事費	3300万円
総工事費	3300万円
居住者構成	65歳以上：0人 / 15～64歳：2人 / 15歳未満：1人 /

リフォーム前の平面図



リフォーム後の平面図



リフォーム部位： ■居室/ ■台所/ ■浴室/ ■便所/ ■洗面所/ ■廊下/ ■階段/ ■玄関/ ■エントリ/ □ロフト/ □共用部分/ □その他